

平成30年度第2回三朝町立小学校統合準備委員会PTA組織部会 議事報告

1. 日時 平成30年9月27日(木)午後7時00分～午後7時50分
2. 会場 役場2階 第1会議室
3. 出席者 (東小) 山本 亮 PTA 会長
(西小) 山本達哉 PTA 会長、東原守哉教頭
(南小) 矢吹明裕 PTA 会長、宮脇晃彦教頭
(事務局) 角田正紀課長補佐、平井 尚指導主事、福田 徹主任

4. 議事(・委員発言など →事務局説明など)

(1) 新小学校における通学用品(かばん、帽子)について

※各小学校PTA役員等の意見集約結果

①通学かばん(推奨品)

〈東小〉

- ・9/21に役員会を実施。通学かばんについては、現行の西小の推奨品(黄色のランドナップ)を使用することで問題ない。

〈西小〉

- ・PTA役員会と総務委員から意見集約を行った。かばんについては馴染みもある現行の黄色のランドナップを推奨品とすることで問題ない。

〈南小〉

- ・アンケートを実施。ランドセルと推奨品を選択できることは良い事という意見もあり、ほとんどが提案どおり(現西小の黄色のランドナップを推奨品とする)で良いという意見であった。

【PTA組織部会の方針】

新小学校の通学かばんとして黄色のランドナップを推奨品とする。

〈その他〉

- ・事務局より、サンプル品(黄色のランドナップ)を各園(みささこども園、賀茂保育園、竹田保育園)、東小、南小に展示する予定。取扱店は倉吉市内のスポーツ店。
- ・現在の西小校章マークを覆うシール(新校章マーク)については、取り扱っていないため、卸業者に問い合わせるとの事。

②通学帽子(指定品)

〈東小〉

- ・PTA役員会では、通学帽子は必要ないという意見で一致した。意見としては、東小は

通学帽子を指定していないこと、帽子が無くても不自由さを感じていないことなど、肯定的な意見は無かった。

〈西小〉

- ・現在、指定の黄色い帽子を着用していることから、特に要否の意見は無かったが、帽子を指定する意義として、
 - 統合すると300人規模の学校となることから、現在の西小周辺は三朝で一番交通量の多い場所であり、交通事故防止の観点から黄色の帽子は効果が高い。
 - 夏期の熱中症対策や校外活動において、児童それぞれが自由な帽子を着用すると派手なものやアクセサリが付いたものがあり、生徒指導の面でも統一性を持たせた方が良い。
 - 通学帽子を指定していないから必要ないという論点ではなく、新小学校として児童の安全をどう守っていくのかという観点から考えてほしい。
- ・などから通学用帽子は指定した方が良いと考える。

〈南小〉

- ・通学かばんと併せてアンケートを実施。現在、南小は通学帽子を指定していないが、事務局の提案どおりで良いという意見が多数であった。また、在校生（1～5年生）へは無償提供を検討しているということも好意的に捉えたものとする。

〈意見交換〉

- ・西小の登下校時の帽子着用率は非常に高いが、東小、南小の児童はどのような状況か。
 - ⇒南小はスポーツキャップなどを自由に着用している。
 - ⇒東小は帽子を着用していない児童の方が多いと思う。学校から帽子着用の指導があった場合は被る。夏の暑い時でも特に帽子を着用するという習慣化はされていない。通学用帽子を指定するとかよりも、そもそも帽子を被ることが少ないと思う。
- ・遠足や校外活動の場合はどうしているのか。
 - ⇒東小では遠足などは持ち物の中に指定されているので持って行くが、日常的に登下校に帽子を被るかと言えば被らない。教員からの指示があれば被るという感じ。役員会では必要なしとしているが、交通安全の面や生徒指導の面で学校側が帽子を指定することが必要だという方向であればそれで良いと思う。
- ・学校側としても新小学校の児童の交通安全のことや熱中症対策のこと、指導面のことを考えれば帽子は必要である。帽子着用が定着してしまえば、児童も抵抗感はないと考える。
- ・教育現場として交通事故防止の観点からも統一性のある帽子の方が良いと考える。
- ・帽子の機能面など向上なども検討してみてもどうか。
 - また、新小学校の児童として考えたときに、通学かばんを推奨品（ランドセルも可）とするなら、町内で黄色の帽子を被っていれば、三朝町の小学校の児童だとすぐに分かるという点でも交通安全上だけでなく、防犯上も効果が高いと考える。
 - 単に現在の西小が黄色の帽子に合わせるのではなく、3つの小学校が集まる新小学校としてどうなのかという考え方が良いのではないかと考える。

- ⇒単に現在、帽子を被っていないから、必要・不要ということではなく、児童数の多い学校のシステムに合わせることになるという危機感もあると思う。その変化に子どもたちが順応できるかどうか心配な保護者からすれば、指定の帽子は必要ではないのではという慎重な考えになるのだと思う。そのあたりはご了解いただきたい。
- ・個人的には防犯上、交通安全上のメリットは大事なことだと思う。個人の携行品がバラバラになることに対して、南小や東小の規模でなく300人規模の新小学校ということを考えてときに、その方が恐いと感じる。その状況を鑑みると統一性があつた方が良い。
 - ・中部圏域で通学用帽子を指定している小学校はすべて今の西小のような帽子なのか。
⇒通学用帽子の取扱業者は市内業者だが取扱店は少ない。製品メーカーはカンコーで男子用が1,300円で女子用が1,400円程度。なお、メッシュ素材の対応も可能と聞いているが、デザインの変更は可能かどうか確認する必要がある。提供価格は変わると思う。
 - ・長年、男子用、女子用の帽子デザインが違ったものになっているが、今の時代、帽子デザインを分けることが良いのかどうか、新小学校の設置を機会に統一したデザイン（現在の男子用）にしてはどうかという意見もある。
⇒児童の中には男子用の帽子を好んで被っている女子もいる。現在の社会情勢からすれば学校側も特に指導することはないと思う。もっとも女の子らしい帽子を好む女子もいると思うので、男女どちらの帽子でも選べるようにしてはどうか。
⇒金額のことはあるが、可能であれば新小学校の設置に合わせて、メッシュ素材などの機能性を向上させてはどうか。児童たちは夏場、被ると逆に暑がっている。今の西小の帽子ではない方が新小学校として良いのではないか。
⇒岡山市内では黄色の帽子を指定している小学校は無く、男女同じもので制服のカラーに合わせた色の帽子を指定している。
⇒鳥取県内は知る限りではこの黄色の帽子を使っているが着用率は低い。西部は指定している小学校は無いのかもしれない。私立の学校は分からないが、成長発達の面でも低学年の着用率は高いが、最高学年の児童は抵抗があるのかもしれない。
指定品としては、あくまでも安価で児童の安全面、指導面での効果が高いものが望ましいと考える。なお、かばんと同様に各園、東小、南小にはサンプルを展示する予定。
 - ・夏場の暑い時期にムレるのではないかと心配な声もある。
⇒女子児童も夏場は暑いから被らないで帰る児童もいる。検討するなら新小学校の設置の今のタイミングが良いのではないか。保護者の立場からすれば暑い時期に帽子を被ってほしいと思う。

〈まとめ〉

- ・指定する意義として、交通事故防止や防犯、生徒指導の面で統一性のある帽子の着用が望ましいこと、また、新小学校の設置に合わせて今の西小の指定帽子にメッシュ素材を採用するなど機能面の向上を検討する。
⇒取扱いが可能かどうか、提供価格帯はどの程度かを来週早々に業者に確認する。
また、帽子デザインのカatalogについても確認する。
⇒次回のPTA組織部会（10月中旬）で対応可能かどうかを報告する。

【PTA組織部会の方針】

交通安全上、防犯上、また生徒指導の観点からも黄色の通学帽子を指定することが望ましい。
なお、新小学校の設置に合わせて、現行の帽子について機能性向上（メッシュ素材の採用等）の検討を望む。

※10/1の校長会において、PTA組織部会の方針を提示し、各小の校長の考え方を窺う。

(2) その他（意見交換）

- ・体操服については、10月中旬までに各小学校の体育主任（保健体育主事等）と指導主事で9～12点の中から2点を選考し、次回のPTA組織部会までには選考結果を報告する。

(3) 次回のPTA組織部会

日程調整のうえ、平成30年10月18日（木）に開催することとし、時間は19時からとする。

以上